

J A 三重南紀 平成 28 年 9 月末の現況

＝地域貢献情報＝

●全般的事項

当組合は、熊野市、御浜町、紀宝町の一市二町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、J A の総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

組合員数	8, 9 2 5 人	出資金	7 7 4, 1 5 8 千円
------	------------	-----	-----------------

●地域からの資金調達の状況

(1) 貯金・定期積金残高 4 6, 9 8 5 百万円

(2) 貯金商品

種類	期間	預入額	商品の概要等
当座貯金	出し入れ自由	1 円以上	J A と当座貯金勘定取引契約を結んだ取引先が、J A を支払い場所とする小切手・約束手形を振り出し、又は、為替手形を引受け、その支払事務を J A に委任する為に開設される貯金勘定である。
普通貯金	出し入れ自由	1 円以上	貯金通帳及び所定の入金申込書、払戻請求書により受入・払戻する要求払い貯金である。

総合口座	出し入れ自由	1円以上	普通貯金・定期貯金及び定期性担保とする当座貸越の機能を合わせた口座である。 普通貯金の残高を超える支払時に、設定された担保に応じた当座貸越により、不足分が普通貯金へ自動的に融資され、普通貯金の支払いを成立させる。又、貸越中に普通貯金へ入金された金額は、自動的に返済資金となる。
定期貯金 スーパー定期 大口定期 期日指定定期 変動金利定期 据置定期	1ヶ月～5年 1ヶ月～5年 1ヶ月～3年 1年～3年 6ヶ月～5年	1,000円以上 1,000万円以上 1,000円～ 300万円未満 1,000円以上 1,000円～ 1,000万円未満	あらかじめ満期日（支払期日）を定めて預入れ、貯金者は原則として満期日まで払戻の請求ができない期限付貯金である。 尚、定期貯金は預入れの都度1口ごとに独立して貯金債権が成立する。
積立式定期預金		1円以上	預入期間、及び取扱対象者に応じ、期日指定定期、スーパー定期及び大口定期を組み合わせ、一冊の通帳にまとめて取扱いができる商品である。 尚、貯金契約は預入明細単位ではなく、口座単位に包括的に成立する。
財形貯金 （勤労者財産形成貯蓄）	5年以上	1円以上	勤労者が財形法に基づく契約によって、預入される貯金。貯蓄制度における勤労者財産形成貯蓄契約は勤労者（貯金者）と金融機関との間に行われる。
定期積金	6ヶ月～60ヶ月	1,000円以上	一定金額を毎月一定日の日に、一定期間掛け込む事を条件に一定の契約金額を貯金者に支払う契約である。

●地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高

(単位：百万円)

正組合員		2,483
准組合員		2,907
員 外	地方公共団体	1,403
	地方公社等	—
	金融機関	672
	その他員外	125
	計	2,201
合計		7,592

(2) 制度融資取扱い状況

(単位：百万円)

資金名	残高	制度の概要等
中核農業者育成資金個人	30	中核農業者支援
近代化資金 個人	28	農業・運転・施設・農機具取得
近代化資金 県単特定	6	緊急復旧資金
農業基盤整備	39	農業施設及び耕地整理等
スーパーL	261	農地取得（認定農家）
スーパーS	246	運転資金（認定農家）
畜産経営維持緊急支援資金	230	畜産経営維持資金
その他	74	農業別・政府対策資金関係

(3) 融資商品

資金名	対象者	資金用途	商品の概要等
農業近代化資金	農業者	農業設備等	農業者の設備、農機取得
農業経営資金	農業者	農業設備、農機、運転	農業経営に必要な資金
営農ローン（当貸）	農業者	運転資金	農業運転資金
フリーローン	組合員	負債整理以外	生活に必要とする資金
マイカーローン	組合員	自動車購入	マイカー購入・車検等
住宅ローン	組合員	マイホーム建設等	変動金利型、固定金利型
教育ローン	組合員	教育資金	高校～大学等学資資金

●地域密着型金融への取組み

(1) 農業者等の経営支援に関する取組基本方針

中小企業者等の経営支援に関しては、「金融円滑化にかかる基本方針」に基づき、新規貸付相談や貸付条件変更等の申し込みに対して、真摯かつ適切な対応に努めております。

また金融機関としてコンサルティング機能を十分に発揮できるよう、研修・セミナーの受講により担当者の能力向上に努めています。

(2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

「金融円滑化にかかる基本方針」に基づき、管理責任者・担当者の設置および統括部署を明確化し、金融円滑化管理委員会において協議を行なっています。

また、必要に応じて弁護士、税理士等外部専門家と連携し、経営支援を行なえるような態勢整備をしています。

(3) 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

三重県農業の基盤となる担い手育成確保を図るため、部門横断的な担い手対応部署のメンバーとして、担い手金融リーダーを配置し、営農事業、経済事業等と連携を図るとともに、担い手の資金調達対策等に対応しています。

(4) ライフサイクルに応じた担い手支援

担い手の経営のライフサイクル（就農（創業期）・発展期・成熟期・再生期・承継期）に応じた支援に取り組んでいます。

具体的には、農業経営資金等の各種農業資金、制度資金を提供しています。

(5) 経営の将来性を見極める融資手法を始め担い手に適した資金供給手法の取組み

農業負債整理関係資金を提供するなど経営不振農家に対する経営支援等に取り組んでいます。なお、担い手への資金提供に際しては、不動産担保や個人保証に過度に依存することなく、融資先の経営の将来性を見極める融資を行なうため、三重県農業信用基金協会等と連携し担い手支援に努めています。

(6) 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域への貢献

三重県下JAバンクでは、「JAバンク食農教育応援事業」に取り組んでいます。子供たちに食と農業の関わり等への理解を深めてもらうことを目的としているもので、県内小学校高学年への教材本の寄贈や、農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。

●文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

【地方公共団体への協力】

地域社会のよりよい環境づくりと発展のため、市町が行う地域の再開発や道路・学校・公園など公共施設の整備事業に対して、融資等を通じて積極的に協力しております。

各市町の収納代理金融機関として、税金等の公金事務の窓口を担当し、多くの皆様にご利用頂いております。

【地域への奉仕活動】

4月18日(月)紀宝町道の駅ウミガメ公園において、伊勢志摩サミットに備え「テロ対策紀宝地区パートナーシップ」が行った、テロ攻撃を想定した訓練に参加しました。

「テロ対策紀宝地区パートナーシップ」は、平成28年1月に設立。紀宝警察署をはじめ、官公庁・ライフライン・運輸関係、JA三重南紀を含む団体24機関で構成されていて、テロの未然防止に向けた情報共有自主警備体制の強化活動を行っています。

4月25日(月)愛知県日進市の児童福祉移設「中日青葉学園」をJAとJA全農みえの関係者が訪問し、地域特産の「カラマンダリン」「セミノール」「サンフルーツ」を贈呈し、「毎年たくさんのみかんを届けて頂き感謝しています。」「食育に役立てたい」と感謝の言葉を頂きました。今回で13回目の訪問になります。

4月26日(火)伊勢志摩サミット開催にあたり、気持ちよく三重県を訪れて貰おうと「おもてなし大作戦」を実施。三重県下JAグループ役職員3,000人によるクリーンアップ活動を行いました。JA三重南紀も熊野市、御浜町、紀宝町管内で、業務前の時間を利用し清掃活動を行いました。

5月15日(日)日本棚田百選の一つ、丸山千枚田で各方面から訪れた棚田オーナー86組(531人)が参加し「平成28年度丸山千枚田田植えの集い」が開催されました。JA三重南紀からは、山本理事長(現会長)と室谷営農振興部長が参加しました。

毎年、「交通安全落語」や「交通安全講話」「反射敏捷性測定」等をプログラムに組込んだ「高齢者向け交通安全教室」を開催しています。今年度は、11月27日(日)御浜町にて開催を予定。交通事故に遭わないための留意点を楽しみながら習得できる交通安全落語を林家久蔵師匠に披露して頂き、「笑い」を通

じて交通安全に対する理解を深めて頂きます。

【食農教育活動への取組み】

食への関心、興味を高揚し、食の大切さ食を支える農の役割、地産地消への理解を深めるとともに、地域の食文化、命と健康の尊さに対する理解を深めることを目的とした活動を行っています。

6月6日（月）鶉殿小学校1・2年生86名、6月10日（金）金山小学校1・2・3年生79名、6月22日（水）五郷小学校全校生徒14名を対象に「さつまいも苗の植え方」出前授業を開催。営農指導員に植え方を教わりながら1本1本丁寧にさつまいも苗を植えました。出前授業は行いませんでしたが、6月8日（水）には、神上小学校の全校生徒が、JA 三重南紀が配布したさつまいも苗を植えてくれました。10月にはいも掘りを予定しています。

【年金相談会の開催】

3ヶ月に一度社会保険労務士を招き年金相談会を無料で行っています。今年度は、6月8日（水）に紀宝支店で開催し、3組の相談がありました。9月14日（水）に熊野支店で開催を予定していましたが、相談者が無く中止になりました。

【各種イベントへの参加】

三重南紀のイメージガールは、県内各市町の消費イベントに参加し、三重南紀みかんのPR活動をしています。

4月9日（土）には、マックスバリュ名古屋西店で、10日（日）には、マックスバリュ津北店で消費宣伝を行いました。

8月10日（水）三重南紀本店3階会議室において、三重南紀イメージガール委嘱式が行われました。選ばれた6名は、2年間三重南紀みかんの販売促進を行います。

9月17日（土）三重県石垣英一副知事、JA 筒井道夫理事長とJA関係者らが、東京大田区の大田市場で関東首都圏初となる「三重南紀みかん」のトップセールス、超極早生ブランド「みえの一番星」の試食提供を行いました。中央区にある「千疋屋総本店」、県アンテナショップ「三重テラス」にも訪問しました

9月23日（金）に中日新聞社名古屋本店に表敬訪問し極早生販売前のPR、24日（土）は、名古屋の北部市場を訪問しました。

10月にはハーベス桔梗が丘店での三重南紀みかん祭り、11月には、三重テレビ11月18日放送予定の「とってもワクドキ！」の収録や御浜町みかん祭りでのみかんPR等が予定されています。

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

年金友の会の行事として年2回のグラウンドゴルフ大会と年1回の年金友の会総会を開催しています。

9月15日(木)に熊野市営グラウンドにおいて、熊野市59名、御浜町33名、紀宝町66名の計158名に参加していただき開催しました。次回のグラウンドゴルフ大会は、3月に予定しています。平成28年度第18回年金友の会総会は、11月24日(木)に長島温泉「湯あみの島」で開催予定。27年度に初めての取り組みとして本店団地センターで開催したユニカール大会も開催する予定です。

【第7期美人倶楽部】

6月13日(月)JA三重南紀本店団地センターにおいて平成28年度「JAときめき女性大学★美人倶楽部」の開校式を行いました。受講生は15名で、料理やお菓子作り、手芸教室など6回の講義を予定しています。

開校式後の第1回講義は、南佳寿先生を講師に迎え、季節の花を使った「寄せ植え教室」を開催しました。

7月25日(月)紀宝町「まなびの郷」において、料理研究家の秦佐知子先生を講師に招き、美人倶楽部第2回講義「夏バテ防止料理教室」を開催。10名が参加し「牛肉と野菜のオイスターソース炒め」「カラフルピクルス」「簡単参鶏湯」「かぼちゃプリン」の4品を作りました。

【JA三重南紀女性部】

8月30日(火)紀宝町「まなびの郷」において、料理研究家の秦佐知子先生を講師に招き女性部による料理教室を開催しました。午前14名、午後12名に参加していただき、「枝豆としらすの酢醤油和え」「しめ卵と枝豆の吸い物」「ひりょうず」「さんまのポテトロールみょうが添え」の4品を作りました。

9月15日(木)JA三重南紀女性部48名と役職員4名が参加し、京都府の「将軍塚展望台」、滋賀県の「ラ・コリーナ近江八幡」への視察研修を行いました。「潤いのある健康で明るい地域づくり」を目指して活動している女性部が、女性部員相互の親睦を深める事でより活発な活動が図れることを目的とし、年1回この視察研修を行っています。

7月25日(月)紀宝町生涯学習センターにおいて夏休み特別食育企画と題し11組の親子が参加し「親子料理教室」を開催。料理研究家の秦佐知子先生を講師に招き、地元産米粉を使用した『夏野菜たっぷりの4色ピザ』を作りました。

(3) 情報提供活動

【「すまいるだより」「営農ニュース」などの情報誌の定期発行】

当組合では、平成9年8月以来、当組合の活動のみならず、地元の行事・活動を紹介した「すまいるだより」を発行しており、身近な広報誌として地域の皆様にご好評を頂いています。

また、農家向けに毎月の農作業のポイントをお知らせする「営農ニュース」も発行しており、営農指導と併せて地域農業の資質向上に役立てております。

【ホームページの開設】

当組合では、平成20年9月以来、ホームページを開設し、当組合の現況、最新ニュース、柑橘情報等を掲載しています。

ホームページの URL は、<http://ja-mienanki.jp> です。

●店舗一覧

店舗名	住 所	電話番号	CD/ATM 設置台数
本 店	南牟婁郡御浜町阿田和 4694-4	05979-2-1388	
営農振興部	南牟婁郡御浜町下市木 2281-2	05979-2-4545	
御浜経済センター	南牟婁郡御浜町阿田和 4135	05979-3-1616	
熊野支店	熊野市有馬町 1368-1	0597-89-6606	1 台
熊野店	熊野市有馬町 1368-1	0597-89-2095	
ほほえみかん	熊野市有馬町 1368-1	0597-85-2169	
飛鳥店	熊野市飛鳥町小阪 511-1	0597-84-0002	
ほたるの郷	熊野市五郷町寺谷 850-1	0597-83-0003	1 台
御浜支店	南牟婁郡御浜町阿田和 4694-4	05979-2-2006	1 台
市木店	南牟婁郡御浜町下市木 2551	05979-2-1013	1 台
神木店	南牟婁郡御浜町神木 1950-8	05979-2-0003	
紀宝支店	南牟婁郡紀宝町成川 40	0735-22-8471	1 台
相野谷店	南無理群紀宝町大里 1568	0735-34-0696	
市木給油所	南牟婁郡御浜町下市木 2549-1	05979-2-1585	
相野谷給油所	南牟婁郡紀宝町大里 1432-1	0735-34-0410	
御浜農機センター	南牟婁郡御浜町下市木 2551	05979-2-4393	
葬祭センター	南牟婁郡御浜町志原 1194	05979-2-0007	
統一選果場	南牟婁郡御浜町下市木 2133	05979-2-1014	

(店舗外 CD・ATM 設置台数 4 台)

＝財務状況に関する項目＝

●金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債権区分	平成 28 年 9 月末	平成 28 年 3 月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5 1	3 7	1 4
危険債権	5 6 9	5 9 0	▲ 2 0
要管理債権	—	—	—
正常債権	6, 9 8 1	6, 9 2 2	5 9
合 計	7, 6 0 2	7, 5 4 9	5 3

注) 平成 28 年 9 月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 各債権区分額は、平成 28 年 3 月末時点の債権区分を基準として、平成 28 年 9 月末時点の残高に修正しています。
2. 平成 28 年 3 月末から 9 月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9 月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

●単体自己資本比率

平成 28 年 9 月末（参考）	平成 28 年 3 月末
1 0 . 6 5 %	1 0 . 8 3 %

注) 平成 28 年 9 月末の自己資本比率（参考）は、次の方法により算出しています。

1. 平成 28 年 3 月末のオペレーショナル・リスク相当額に基づき算出しています。
2. 平成 28 年 9 月末の自己資本額および信用リスク・アセット額に基づき算出しています。ただし、一部の項目については平成 28 年 3 月末の額を使用しています。

●主要勘定の状況

（単位：百万円）

	平成 28 年 9 月末	平成 28 年 3 月末	平成 27 年 9 月末
貯金	4 6, 9 8 5	4 7, 4 5 6	4 7, 8 7 2
貸出金	7, 5 9 2	7, 5 3 9	7, 8 4 2
預金	3 7, 1 3 3	3 7, 9 3 5	3 7, 8 1 9
有価証券	1, 4 1 8	1, 1 1 9	9 3 9
金銭の信託	—	—	—

●有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区分	平成 28 年 9 月末			平成 28 年 3 月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	199	216	16	199	216	16
その他	1,100	1,218	118	799	919	119
合計	1,299	1,435	135	999	1,135	135

注) 1. 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等によっております。

2. 取得価額は取得原価又は償却原価によっています。